

ワーク編



Q1 あかぎ先生は、次回の学級懇談会を、保護者が大勢参加して、「参加してよかった！」と思える、充実した会にしたいと考えています。さて、あなたなら懇談会の議題をどのように決めますか？

 あなたのアイデアをこちらに

A 1

提案します!

まずは、保護者の願いを把握することから始めましょう!

懇談会で、これからの行事の内容について説明することや、子どもたちのこれまでの学校生活の様子について報告することは、担任として大切なことでしょう。

それに加えて、担任として、保護者の家庭での子育てを支援することができれば、保護者にとってより価値ある保護者会になるのではないのでしょうか。

保護者が、参加して「満足感を味わえる」ことが期待できる懇談会にするために、保護者の願いに添った懇談会を企画することが必要です。担任が保護者の気持ちを理解しようという姿勢を見せれば、「一緒に学びたい」「保護者の力になりたい」という担任の思いが伝わるのではないのでしょうか!

ぜひ、保護者の願いに添った懇談会を企画してみましよう。





Q 2 あかぎ先生は、保護者が子育ての場面でどんな願いをもっているか把握したいと思っています。
あなたならどんな方法で把握しようと思いますか？

 あなたのアイデアをこちらに

A 2

提案します!

- ・家庭訪問の時に聞く。
- ・理想の親像や親と会話などについて、子どもから聞いてみる。
- ・PTAの会議等で保護者が来校した時に話を聞く。
 - ・PTAの学年委員さんに聞く。
 - ・アンケート用紙を作って記入してもらう。

⋮

上記の方法を含め、いろいろな方法が考えられるでしょう。様々な場面で、保護者から話を聞く場合、直接的に「悩みはありますか？」などと質問すると、かまえてしまったり、言いづらかったりして、答えが返ってこない場合が予想されます。世間話や雑談をしたり、お子さんの学校での様子を話したりしながら、話しやすい雰囲気を作りましょう。そして、家庭での子どもの様子を聞きながら、保護者の不安や悩みを自然と引き出すのがよいでしょう。

保護者と直接会える機会が少ない場合もあるでしょう。そんな時は、アンケート用紙を作成して記入してもらうことも一つの方法だと思います。アンケート用紙を作成する場合も、保護者が答えやすいような質問の仕方を工夫することが大事でしょう。

アンケート用紙を作成してみました。
手引き編を参考にしてください。



Q3 あかぎ先生は、アンケートやその他の情報収集によって、下記のような保護者の願いを把握しました。
さて、これらを整理して、懇談会をどんなテーマで開催しますか？

「あかぎ先生のクラスの保護者の願い」
子どもの苦手なことなど、少しでもやる気を起こさせる接し方。
子どものやる気、根気を育むにはどうしたらよいか。
子どもに自信をもたせるにはどうしたらいいか。
どうしたら積極的に行動できるか。
思っているけど実行しないのをどうしたらいいか。
素直じゃなく親の思い通りにならない。

 あなたのアイデアをこちらに

A3

提案します!

保護者全員の願いを、できるだけ生かしたテーマを設定しましょう!

保護者の願いに添ったテーマの懇談会を開催すれば、保護者は「担任は親の気持ちをわかろうとしてくれている」と感じるはずです。保護者の願いを整理すると、保護者が抱えている子育ての課題が見えてくるので、それを懇談会のテーマにしたらどうでしょう。

「アンケートの結果」から「セミナーのテーマ」を導くチェックシートを作成してみました。
手引き編を参考にして下さい。



Q 4 あかぎ先生は、保護者の願い（課題）を整理して、懇談会のテーマを「我が子の自信の育て方」にしました。そのテーマに基づいて、あなたなら、どんな流れで、懇談会を進めますか。

 あなたのアイデアをこちらに

A 4

提案します!

学級懇談会を、「保護者の参加体験型」懇談会として、企画してみてください。

保護者が抱える課題を解決するためには、参加体験型の懇談会が効果があります。従来からよく実施される講義形式なども、効果的です。しかし、子育ての知恵について、聞いて学ぶだけでは、なかなか身に付かないことが多いです。保護者同士話し合ったり、体験したりしながら、かかわり方を実際の子育て場面に即して、より実践的に学ぶのが、「参加体験型」懇談会です。

実施すると、こんなよいことが期待できます。

保護者が、子どもとのかかわり方を学ぶことができる。

教師が子どもとのかかわり方を学ぶことができる。

共に学ぶことで、教師と保護者の信頼関係が深められる。

和やかな雰囲気の中で、保護者が楽しみながら学ぶことができる。

参加した保護者同士が子育てについての情報交換ができる。

総合教育センターでは、参加体験型の子育て支援セミナーを
実践しています。構成的グループエンカウンタを使って参加者
の緊張感を解いて和やかな雰囲気を作ったり、スタッフがロー
ルプレイで演じた課題場面について話し合ったりしながら、子
育ての課題を解決する力が高まるよう工夫しています。

「参加体験型」子育て支援セミナーは、こんな流れで実施できます。

- 1 保護者の願いを把握する
- 2 保護者の願いから、子育ての課題を見つけて、
懇談会のテーマを決める
- 3 テーマを基にプログラムを作る
- 4 学級懇談会で実施する
- 5 セミナーで学んだことを振り返る

参加体験型セミナーのプログラムの実践例は
プログラム編を参考にして下さい。





Q 5 あかぎ先生は、保護者の願いに添った懇談会を企画しました。実践後、振り返りを行おうと考えています。あなたならどのような方法で、振り返りを行いますか？

 **あなたのアイデアをこちらに** 

A 5

提案します! 

学級懇談会実施後に、保護者に感想を書いてみてもらってはどのようにですか？

企画した懇談会が、保護者にとってどの程度役立ったか把握して反省し、次回に生かすことはとても大事なことです。保護者が懇談会で何を学び、どう生かそうとしているかを知り、今後も保護者を支援していきたいものです。

そのために、懇談会終了後、記述式で感想を書いてもらってはいかがでしょう。感想を書くことで、保護者自身も、学んだことを整理することができ、これからの子どもとのかかわり方に一つの方針を立てることができるでしょう。できれば、懇談会実施1ヶ月後に、学んだことをどう生かし、子どもと自分自身がどのように変容してきたか、振り返れるように、再度感想を書いてもらうことが有効です。

懇談会後に保護者に記入してもらおう振り返り用紙を作ってみました。
プログラム編を参考にしてください。





Q 6 あかぎ先生のように、保護者の願いに添った懇談会を企画し、実践してみても、あなた自身どうでしたか？

 あなたの振り返りをこちらに

A 6

提案します!

保護者の願いに添った懇談会を企画することは、教師としての問題解決能力を高めます

今までの懇談会と比べて、保護者の願いに添った参加体験型の懇談会を終えてどう感じました？

保護者の表情が和み、満足した表情で帰る姿が見られたのではないのでしょうか？保護者の喜んだ表情を見れば、教師としての充実感を味わうことができます。

保護者の願いを把握してプログラムを作るまでの一連の思考過程を経験することで、教師としての問題解決能力が向上します。問題解決能力を高めることで、児童生徒の気持ちを背景から理解し、どうかかわるべきか考える力がつくでしょう。

保護者の願いに添った懇談会を通して、
家庭の教育力と教師の問題解決能力が向上
します。

